



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3945 URL <https://www.superbag.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 樋口 肇  
問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 鈴木 崇之 TEL 04-2938-1244  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	13,122	5.1	333	△12.5	390	△3.2	271	△16.0
2024年3月期中間期	12,490	5.5	380	—	403	—	323	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 249百万円(△50.0%) 2024年3月期中間期 498百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	183.54	—
2024年3月期中間期	211.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	14,806	4,274	28.8
2024年3月期	15,597	4,153	26.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,262百万円 2024年3月期 4,139百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,700	3.2	1,070	3.5	1,120	4.1	870	0.5	587.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	1,686,154株	2024年3月期	1,686,154株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	202,961株	2024年3月期	204,846株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	1,481,832株	2024年3月期中間期	1,528,093株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、中間期決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要拡大により、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、円安進行、ウクライナ情勢の長期化、中国経済の下振れによる国内景気への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、原材料価格の高止まり、円安進行といった外部要因の影響は続いているものの、インバウンド消費の増加により来店型店舗における包装資材需要は高まっており、手提袋を中心に紙製品事業は好調に推移いたしました。また、EC市場拡大と環境意識の高まりから、紙製宅配資材の販売も堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは2024年5月10日に第2次中期経営計画『環境と共に歩む次世代パッケージ企業～創業120年の誇りを胸に～』を公表いたしました。『成長戦略の追求と環境経営基盤の構築』を基本方針とし、「紙製品事業への注力」、「新規事業開拓」、「環境偏差値向上」、「人的資本・ガバナンス強化」、「経営基盤戦略」に注力し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

当中間連結会計期間においては、経営基盤強化のためのシステム刷新を実施したほか、生産設備や環境への投資を行い、グループ全体の収益性向上に向けた取り組みを強化してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は13,122百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益333百万円（前年同期比12.5%減）、経常利益390百万円（前年同期比3.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益271百万円（前年同期比16.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用331百万円を配分する前の金額であります。

#### 「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、国内における個人消費の回復もあり、主力の角底袋、宅配袋、手提袋、紙器の販売が好調に推移し、売上高は前年同期に比べ457百万円増加して7,073百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、紙製品事業へのリソース集中・生産体制の効率化により、前年同期に比べ14百万円増加して532百万円となりました。

#### 「化成品事業」

化成品事業につきましては、環境意識の高まりから包装資材の脱プラスチック・紙化の流れが継続しているものの、インバウンド消費の増加により、売上高は前年同期に比べ128百万円増加して2,795百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、固定費の削減、不採算事業の整理により黒字化は継続しているものの、円安に伴う原材料価格の高止まりによるコスト増加の影響から、前年同期に比べ28百万円減少して44百万円となりました。

#### 「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しております。売上高は前年同期に比べ46百万円増加して3,252百万円となりました。品目ごとの販売構成では、ギフト用品や販促品が増加しております。セグメント利益（営業利益）は、粗利益額が増加したことから、前年同期に比べ11百万円増加して87百万円となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ790百万円減少して14,806百万円となりました。流動資産は、棚卸資産が49百万円増加、前払費用が53百万円増加した一方、売掛金が669百万円減少、電子記録債権が183百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ756百万円減少の9,929百万円となりました。固定資産は、設備投資等により187百万円増加した一方、減価償却で128百万円減少、投資有価証券の時価評価額が88百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ33百万円減少の4,877百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ911百万円減少して10,532百万円となりました。これは、短期借入金及び長期借入金が86百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が195百万円減少、電子記録債務及び設備関係電子記録債務が549百万円減少、未払法人税等が89百万円減少、未払消費税等が74百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ121百万円増加して4,274百万円となりました。これは、剰余金の配当で133百万円減少した一方、親会社株主に帰属する中間純利益計上により271百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の26.5%から28.8%になりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は2,566百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円増加しております。その内訳は次のとおりであります。

#### 「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、277百万円（前年同期は6百万円の増加）となりました。

これは、仕入債務の減少746百万円、法人税等の支払額142百万円等資金が減少したものの、税金等調整前中間純利益389百万円、減価償却費128百万円、売上債権の減少894百万円等資金が増加したことなどによるものであります。

#### 「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、210百万円（前年同期は134百万円の減少）となりました。

これは、投資有価証券及び固定資産の取得による支出208百万円等資金が減少したことなどによるものであります。

#### 「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は、79百万円（前年同期は321百万円の増加）となりました。

これは、借入金が純額で86百万円増加したものの、配当金の支払額128百万円、リース債務の返済による支出37百万円等資金が減少したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日公表の数値に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,582	2,618
受取手形	118	76
売掛金	4,169	3,500
電子記録債権	883	700
商品及び製品	2,205	2,306
仕掛品	324	246
原材料及び貯蔵品	263	290
その他	139	192
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	10,686	9,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,638	4,776
減価償却累計額	△3,934	△4,035
建物及び構築物(純額)	704	741
機械装置及び運搬具	7,141	7,090
減価償却累計額	△6,461	△6,441
機械装置及び運搬具(純額)	680	648
土地	644	644
リース資産	561	566
減価償却累計額	△387	△405
リース資産(純額)	174	161
建設仮勘定	14	45
その他	446	457
減価償却累計額	△421	△432
その他(純額)	25	24
有形固定資産合計	2,243	2,266
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	2	1
その他	26	76
無形固定資産合計	44	93
投資その他の資産		
投資有価証券	1,965	1,870
差入保証金	107	106
退職給付に係る資産	487	486
繰延税金資産	43	46
その他	87	74
貸倒引当金	△67	△67
投資その他の資産合計	2,623	2,517
固定資産合計	4,911	4,877
資産合計	15,597	14,806

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,372	2,177
電子記録債務	3,292	2,740
短期借入金	1,352	1,312
リース債務	89	92
未払金	456	428
未払法人税等	175	85
未払消費税等	129	54
契約負債	32	12
賞与引当金	202	221
設備関係電子記録債務	12	14
設備関係未払金	30	18
その他	160	121
流動負債合計	8,306	7,280
固定負債		
長期借入金	2,075	2,202
リース債務	246	211
繰延税金負債	102	122
役員退職慰労引当金	43	45
退職給付に係る負債	671	670
固定負債合計	3,138	3,252
負債合計	11,444	10,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,241	1,242
利益剰余金	1,141	1,279
自己株式	△376	△373
株主資本合計	3,380	3,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	509	448
繰延ヘッジ損益	1	△3
為替換算調整勘定	187	242
退職給付に係る調整累計額	59	51
その他の包括利益累計額合計	758	738
非支配株主持分	13	11
純資産合計	4,153	4,274
負債純資産合計	15,597	14,806

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	12,490	13,122
売上原価	10,009	10,542
売上総利益	2,480	2,579
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,078	1,118
給料及び手当	567	622
賞与引当金繰入額	99	112
退職給付費用	22	18
賃借料	65	67
旅費及び交通費	30	39
その他の経費	236	268
販売費及び一般管理費合計	2,100	2,246
営業利益	380	333
営業外収益		
受取配当金	21	25
持分法による投資利益	28	38
為替差益	—	5
受取賃貸料	11	15
その他	10	9
営業外収益合計	71	95
営業外費用		
支払利息	39	34
為替差損	3	—
その他	6	3
営業外費用合計	49	38
経常利益	403	390
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	0
助成金収入	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	1	1
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	1	1
税金等調整前中間純利益	402	389
法人税、住民税及び事業税	76	68
法人税等調整額	3	50
法人税等合計	79	119
中間純利益	323	270
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する中間純利益	323	271

## 中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	323	270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	143	△60
繰延ヘッジ損益	△0	△5
為替換算調整勘定	25	44
退職給付に係る調整額	△4	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	11	9
その他の包括利益合計	175	△21
中間包括利益	498	249
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	498	251
非支配株主に係る中間包括利益	0	△2

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	402	389
減価償却費	115	128
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22	14
受取利息及び受取配当金	△21	△26
支払利息	39	34
持分法による投資損益 (△は益)	△28	△38
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
固定資産除却損	1	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△207	894
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△32	△49
仕入債務の増減額 (△は減少)	△315	△746
未収入金の増減額 (△は増加)	△2	△6
未払債務の増減額 (△は減少)	61	△44
未払消費税等の増減額 (△は減少)	35	△74
その他	△25	△126
小計	44	368
利息及び配当金の受取額	94	87
利息の支払額	△39	△36
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△93	△142
営業活動によるキャッシュ・フロー	6	277
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
投資有価証券の売却による収入	—	0
固定資産の取得による支出	△124	△201
固定資産の売却による収入	0	0
固定資産の除却による支出	△0	△0
その他	△2	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134	△210
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000	830
長期借入金の返済による支出	△628	△743
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△49	△37
配当金の支払額	—	△128
財務活動によるキャッシュ・フロー	321	△79
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	45
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	218	33
現金及び現金同等物の期首残高	2,148	2,533
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,367	2,566

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更が中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更が前中間連結財務諸表及び前連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報)

## I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	5,475	—	—	5,475	—	5,475
紙器	662	—	—	662	—	662
その他紙製品	478	—	—	478	—	478
ポリ袋	—	2,251	—	2,251	—	2,251
その他化成品	—	416	—	416	—	416
その他商品	—	—	3,206	3,206	—	3,206
顧客との契約から生じる 収益	6,616	2,667	3,206	12,490	—	12,490
外部顧客への売上高	6,616	2,667	3,206	12,490	—	12,490
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,616	2,667	3,206	12,490	—	12,490
セグメント利益	518	72	76	667	△286	380

(注) 1. セグメント利益の調整額△286百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	5,884	—	—	5,884	—	5,884
紙器	749	—	—	749	—	749
その他紙製品	440	—	—	440	—	440
ポリ袋	—	2,342	—	2,342	—	2,342
その他化成品	—	452	—	452	—	452
その他商品	—	—	3,252	3,252	—	3,252
顧客との契約から生じる 収益	7,073	2,795	3,252	13,122	—	13,122
外部顧客への売上高	7,073	2,795	3,252	13,122	—	13,122
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,073	2,795	3,252	13,122	—	13,122
セグメント利益	532	44	87	664	△331	333

(注) 1. セグメント利益の調整額△331百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。